

令和2年4月24日

保護者の皆様
関係各位

新型コロナウイルス感染への対応について
《第10報》

校長 石川 博朗



正門わきの拝島のフジがその花房を伸ばし始め、端に薄紫の花が見られる候となりました。

フジは「不死=長寿」に繋がる縁起が良いものとされ、その花言葉も、「優しい、歓迎、佳客、恋して酔う」などの良い意味が多くあります。一方しっかり「縛りつける」ものとして縁起が良くないものとも言われるようです。どちらもしっかり「繋がる」ことの良し悪しに関わることで、大切なことは「何を繋ぐか、どう繋ぐか」なのかもしれません。今、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みが、全世界、日本全土で進められています。未だ感染の拡大を十分に止められない状況にありますが、大事にしたいことは、明るい未来を信じて、今一度拝島のフジの花のようにしっかりと手と心を合わせて前を向いて進むことだと思います。どうぞ感染予防に向けて、一段のご協力をお願いします。

さて、今週は、「FMたちかわ」の協力を得て、昭島市すべての公立学校からメッセージを送らせていただきました。本校は、勤務縮小の対応の中、府金副校長が学校を代表して、4・5・6年生を対象にメッセージをお伝えしました。次回は、4月30日(木)午前10時10分過ぎから、1・2・3年生を対象にメッセージをお送りする予定です。次回は、複数の教員が担当します。わずか5分間ですので多くのことはお伝えできませんが、それでもラジオに熱心に耳を傾け先生の声に聞き入る子供たちの姿を想像しながら、言葉を添えていきます。どうぞ楽しみにしててください。「コロナに決して負けない」、我々も頑張ります。皆様もくれぐれもご自愛ください。